

日本電気泳動学会児玉賞受賞者一覧

年 度	回	受賞者	受賞講演演題
1962	第1回	鳥尾 和男 橘 敏也	デンストメトリーに関する考察 濾紙電気泳動法における分画抽出法について
1963	第2回	平井 秀松 右田 俊介	ネズミ腹水肝癌の特異蛋白質について 澱粉ゲル免疫電気泳動法
1964	第3回	赤井 貞彦 中村正二郎	癌患者の血漿蛋白像 交差濾紙電気泳動法
1965	第4回	田中 享一	伝貧馬における血清蛋白質の研究
1966	第5回	三好 和夫 谷内 昭	血液蛋白病ないし蛋白病と電気泳動法 血清 α -グロブリンの免疫電気泳動的研究
1967	第6回	該当者無し	
1968	第7回	平山 千里	肝疾患と免疫グロブリン
1969	第8回	河合 忠	M蛋白血症
1970	第9回	該当者無し	
1971	第10回	荻田 善一	血清酵素アイソザイムの遺伝生化学的研究
1972	第11回	竹尾 和典	ディスク泳動法による諸酵素の活性染色法 特にフォスホリラーゼについて
1973	第12回	高月 清 福田 守道	骨髄腫蛋白の生物学的活性 等電点分画による血清蛋白酵素の分析的研究
1974	第13回	西 信三	α -フェト蛋白の生化学的研究
1975	第14回	橋本 信也	ヒトリンパ球の細胞電気泳動的な研究
1976	第15回	菅野 剛史 山崎晴一郎	酵素結合性免疫グロブリンに関する研究 血漿リポ蛋白の代謝に関する研究
1977	第16回	漆崎 一朗 新津洋司郎	フェリチンに関する研究 同上
1978	第17回	馬場 茂明 大槻 真	ヒトアミラーゼアイソザイムの遺伝学的研究 同上
1979	第18回	井上 勤 栢口 正雄 加藤 豊 藤森 暁	二次元アフィニティ電気泳動法による酵素の研究 自動電気泳動装置(AES)の開発とその意義 同上 同上
1980	第19回	池本 卯典 水口 清	唾液蛋白及び酵素遺伝標識の電気泳動法による検出と遺伝学ならびに法医学的意義 同上
1981	第20回	北村 元仕 小林 邦彦	電気泳動法を用いた血清酵素異常の臨床的解析に関する一連の研究 ニワトリの多量体免疫グロブリンについて
1982	第21回	奥山 典生 真鍋 敬	組織蛋白質の検索表のための二次元電気泳動一蛋白質マップとポリペプチドマップ 同上
1983	第22回	大橋 望彦 戸田 年総	マイクロコンピューターを用いたセルロースアセテート膜二次元電気泳動法に関する一連の研究 同上
1984	第23回	該当者無し	

1985	第24回	武田 和久 遠藤 康夫 林 泰三	レクチン親和電気泳動—抗体親和転写によるヒト α -フェトプロテインの分離検出とその臨床応用 肝疾患およびヨークザック腫瘍におけるAFPの意義—とくにレクチン親和電気泳動法による分析 急性のHypoxialにおける心筋ならびに血液のLDH-,CPK-isoenzymeの変化
1986	第25回	櫻林郁之介 戸沢 辰雄	Western blotting法による蛋白質の解析 マスキングからとらえた酵素結合免疫グロブリンの臨床的研究
1987	第26回	原 三郎	前立腺特異抗原とくに γ -Seminoproteinについて
1988	第27回	小林 貞男 坂岸 良克 菰田 二一	アガロースゲル等電点電気泳動—支持体中の液流を中心として— アルカリ性フォスファターゼ研究の進歩 同上
1989	第28回	古賀 俊逸	アポリポ蛋白質測定の臨床的意義、とくに電気泳動法による分析を中心に
1990	第29回	中村 和行 芝 紀代子	ニトロセルロース膜を用いた蛋白質の疎水性に関する研究—ブロッティングからクロマトグラフィーまで— 高圧セルロースアセテート膜等電点電気泳動法による血清蛋白質分析の至適泳動条件に関する基礎的研究とその応用
1991	第30回	藤田 清貴	異常免疫グロブリンの解析—特にLDH結合性免疫グロブリンを中心として—
1992	第31回	須藤加代子 今井 浩三	乳酸脱水素酵素異常に関する分子生物学的研究 細胞間接着分子ICAM-1に関する研究
1993	第32回	吉岡 尚文	健康人の血清ハプトグロビン欠損について
1994	第33回	前川 真人	血清酵素異常の遺伝子解析に関する研究
1995	第34回	橋本寿美子	電気泳動法による血清蛋白質異常の解析— β 分画の解析—
1996	第35回	大谷 英樹 横濱 道成	血漿蛋白質異常症の電気泳動および免疫化学的方法による解析 動物由来の血漿蛋白質ならびに遺伝子の各種電気泳動法による解析
1997	第36回	志村 清仁	アフィノフォレスス—研究を振り返って
1998	第37回	森山 隆則	アミラーゼの電気泳動的解析解析に関する研究
1999	第38回	浅川 順一	2次元電気泳動法を用いた蛋白質レベル・遺伝子レベルでの変異検索
2000	第39回	松下 誠	小腸型アルカリ性ホスファターゼアイソフォームに関する研究
2001	第40回	伊東 文生 井本真由美	細胞外マトリックス分解酵素マトリライシンを用いた消化器癌の診断と治療 異常免疫グロブリンの免疫化学的および物理化学的研究
2002	第41回	小山 岩雄	動物の肝臓組織で発現するアミラーゼの意義
2003	第42回	平野 久	ゲル電気泳動法を用いたプロテオーム蛋白質複合体の翻訳後修飾に関する網羅的な研究
2004	第43回	寺部 茂	キャピラリー電気泳動の特性を生かしたプロテオームおよびメタボローム解析法の開発
2005	第44回	中西 豊文	疾患関連蛋白同定のための電気泳動/質量分析法の確立と臨床医学への応用
2006	第45回	船渡 忠男	造血器腫瘍における抗がん剤耐性獲得機序に関する研究
2007	第46回	大石 正道 鈴木 潤 坂口 和子	一次元目にアガロースIEFゲルを用いた二次元電気泳動(アガロース2-DE)法を基盤とした疾患プロテオーム解析 電気泳動法による有害物質の分析と生体影響 同上
2008	第47回	田渕 眞理	ナタデココ支持体を用いた新しい電気泳動法の開発
2009	第48回	梶原 英之	電気泳動による農業生物タンパク質の動態解析
2010	第49回	豊田 実 近藤 格	がんにおけるエピゲノム異常の解析とトランスレーショナルリサーチ 電気泳動法を用いたがん個別化医療のためのバイオマーカー開発